

Challenge News

対談

就職者 × 就労定着支援員

コラム

「意思決定支援」と「社会生活支援」の取り組み

支援の現場から

社会生活支援

特集

「笑顔」の思い出





バスドライブ
～四季の里旭志～
メニュー決めから
楽しんで

外出先での
ティータイム
ほっと一息



美味しい物を食べて笑顔に



ケア・ハピネス
Rog Caféにて
こだわりの一杯
は絶品!



電車でGo!
熊本市内でマクド!

松屋別館での
食事会





先輩職員&
新人職員
息を合わせて

みんなでお餅をついて笑顔に



職員と一緒に。
自然と笑顔3!



年末の
恒例行事



チャレンジめいとくの里 介護系



ハピネスの
ドッグランが
移動動物園に!



お天気
ばっちり!

晴天のハピネスランドで笑顔に



動物ふれあい
コーナーは
大人気です



キッチンカーでの
お土産も

笑顔でチャレンジ



熊本リレーマラソン

42,195キロ
つないだタスキ
つないだ笑顔

最後まで走りどげ
笑顔でゴール



みんなを笑顔に



お正月飾り

幸あれと
ひとつひとつ
心をこめて



チャレンジめいとくの里 就労継続支援B型

支援の現場から

チャレンジめいとくの里での社会生活支援の取り組みをご紹介します。



チャレンジめいとくの里 ルアナグループ
人見 支援員(勤務:6年目)
趣味・フラダンス・音楽鑑賞

チャレンジめいとくの里
ルアナグループ Dさん
趣味・DVD鑑賞・外出



声掛けを行いながら

『楽しみを感じてもらえるように』
取り組みにあたって課題が2つありました。1つ目は金銭の支払いについて。2つ目は待ち時間についてでした。金銭の支払いについては、券売機でカードを購入するシステムだった為、事前にお金の準備をし、ご本人に購入をしていただくようにしました。待ち時間については、最初はご本人に寄り添いながら、徐々に距離を取り後ろから見守るようにすることで、一人で待つことのできる雰囲気・環境づくりを心掛けました。

『ヘアカットへのチャレンジ』
Dさんは、生活介護サービスを利用され、自宅から通われています。障がい特性上、ご家族でのヘアカットの対応が困難なため、昨年までは当施設の入所部ご利用者様のヘアカット日に合わせて施設内でヘアカットをされています。施設内でのヘアカットにも徐々に慣れてこられたため、社会生活支援の一環として、地域の理容室を利用してヘアカットにチャレンジできないかと支援を開始しました。

『一歩また一歩。次の支援へ』
現在では、理容室での15分程度の待ち時間も落ち着いて過ごされ、ヘアカットを行うことができるようになりました。また、散髪後の買い物についてもお菓子の種類を選択するという機会を持ったことでDさんが好まれるお菓子や今まで気付けなかった好み等も知ることができるようになりました。
金銭の支払いや順番を待つ練習には取り組み実施することができましたが、今後は、ご本人の希望する髪型などをカード等で提示し、それを媒介に理容師の方とコミュニケーションを取りながらご本人の意思表示の機会を増やしていきたいと考えています。今後も外出の機会を増やし社会との繋がりを、意思決定のチャレンジしていきたいと思えます。



さっぱりした後は

またヘアカット後には一緒に買い物を行い、社会経験を積むと同時に楽しみを感じてもらえる機会としました。コミュニケーションを取りながら好まれるお菓子を選び、支払い時には財布から金銭を支払ってもらいおつりももらう練習を行いました。

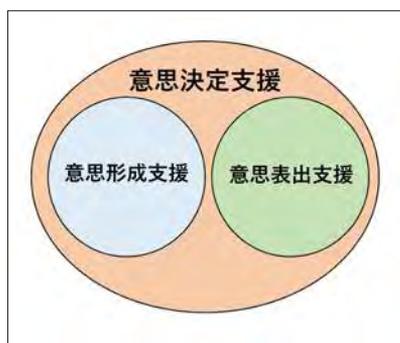
私たちが仕事の中で考えてることを綴ります

明徳会のコラム

「意思決定支援」と「社会生活支援」の取り組み

「意思決定支援」とは

「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」をスローガンに2006年に障害者権利条約が国連で採択され、日本では2014年にこの条約に批准。条約批准のために国内法の整備作業が進められる中で、2017年に厚生労働省から「障害者福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が示されました。この意思決定支援では、「意思形成支援」と「意思表出支援」が重要になります。



【意思決定支援の説明図】

意思形成支援とは、本人に理解できるように工夫された情報の提供と、様々な経験や体験を通して意思が作られる支援をいいます。例えば、口頭での説明だけでなく、文章化してルビを振る。または写真、動画、絵、マーク、模型などを駆使して情報提供を行う。食べたことない物を初めて口にする機会を作る。旅行や外食などでホテルや飲食店など様々な施設を利用するなど挙げられます。

意思表出支援では、形成された意思を選挙場面や決定場面で表出し、表現するための支援を行います。例えば、声の調子や雰囲気や行動などの僅かな違いから本人の気持ちを探ろうとすることや、写真、絵、マークなど使用してご本人に選択してもらうこと。本人が意思を表明できる場と機会を作ることなどです。

めいどくの里での取り組み

当施設でも「意思決定支援」とご利用者が地域社会の一員になるための取り組みとした「社会生活支援」について、重点項目として取り組んで参りました。

まず、外出支援の提供方法を変更。以前は、グループ単位でマイクロバスで出掛けレストラン等で食事を済ませ帰園する方法を取っていました。大人数で和気あいあいとした雰囲気が出掛けられるというメリットはありますが、グループ単位での行動になるために、行先（団体でも対応可能な施設バスの駐車場確保など）、食事内容（団体メニューからの選択 事前予約）の選択を狭めるデメリットがあり外出先は限られます。

そこで、少人数にグループ分けし、行き先や食事の内容など可能な限りご利用者様が自身が選ぶ機会や公共交通機関及び公共施設を活用して、商業施設等に積極的に出掛けました。少人数としたことで、自分のペースでの移動や食事が可能になり、予め準備されたメニューではなくお一人お一人がメニュー表から自分の好きな物を選択されたり、電車の切符なども、自身で保管していただけるように変わりました。



注文は一人ひとり自分のペースで

また、職員も少人数で引率することでご利用者様の観察が細かにでき、お一人お一人の課題ではなく、ストレングス（強み 得意なこと）に着目するように視点を変えていくことができました。

どんなに重い障害のある人にも「意思がある」「意思決定能力がある」を前提に、どのような支援や方法があれば「自分のことは自分で決める」という「当たり前前のこと」こそが「意思決定支援」ではないかと考えます。まだ始めたばかりで手探りですが事業所名にある「チャレンジ」を続けていきたいと思えます。

（文責）チャレンジめいどくの里
サービス管理責任者 福山

就労定着支援員

対談

就職者

松川支援員

ゆめくらしワークス事業部
趣味：占い、お笑い番組、ドラマをみること
就労移行支援及び就労定着支援所属、ジョブコーチとしても外部支援に従事している。

就職者 Iさん

ゆめくらしワークス事業部
趣味：旅行、写真
就労移行支援ご利用後、広告関係事務職として勤務。

就労移行支援では、障がいのある方が一般企業へ就職するための、就職準備支援を行っています。実際に、就労移行支援をご利用されたIさんと就労移行支援の松川支援員のお二人で当時を振り返ってみたいと思います。

松川 今日、お忙しいところありがとうございます。最近の仕事は、どうですか？

Iさん 仕事にも慣れてきました。資料作成を任せられることもあり、やりがいを感じています。

松川 職場の方との関係は、どうですか？

Iさん 仕事の指示を的確に伝えてくださるので、分かりやすいです。『バッチリですよ』など言ってくれます。

松川 そうなんですね。お仕事を始めてから嬉しかったことはありますか？

Iさん 上司や同僚とコミュニケーションをとりながら行っていた業務がカタチになった時は、嬉しかったですね。

就労移行支援での取り組み

Iさん 就労移行支援に通う前の職場では、コミュニケーションに悩んでいました。就労移行では、ペアやグループでのトレーニングがあり、コミュニケーションをどうすればいいのかを学ぶことで、人への気づきが前よりできるようになりました。

松川 そういえば、販売実務プログラムに参加されて、めいとくの里のB型のふりかけやアイスを売りにいきましたよね。

Iさん あれは、良かったですね。職場の雰囲気や仕事の責任感を体験できました。

就職後のサポート

松川 今、企業に訪問して、社員の方から仕事の様子を聞いたり、Iさんからは、仕事や生活の話をして頂いていますね。

Iさん 会社には、話しづらいことも話せる存在の人がいて、心強いです。

松川 Iさんとしては、これから、どんなサポートがあると働きやすいと思われそうですか？

Iさん 仕事のことだけではなく生活のこともアドバイスを聞いて、参考にしていきたいですね。そして、就労定着支援を利用して、安心して長く働きたいです。

今後の展望

Iさん 将来は、自分の活躍できるポジションで、仕事をしてみたいです。そして、今後就業時間を延ばしていきたいです。

松川 応援しています。これからもよろしく願います。

※就労定着支援とは、就職後のサポートを行うサービスです。詳細については、左ページをご覧ください。



しごとサポートセンターができました

チャレンジめいとくの里
ゆめくらしワークス事業部

就労定着支援

平成30年12月開始

就労定着支援とは？

就労定着支援とは、一般就労をしている障がいのある方が、職場に長期間、定着し働けるよう、サポートを行う福祉サービスです。これまで、ゆめくらしワークス事業部の就労移行支援では、就職者への定着支援を行なってきました。引き続き、就労定着支援の福祉サービスとして、就労定着支援員が、就職者が職場へ長く働けるようサポートを行なっていきます。

就労定着支援のサポート内容

- ✓ 最大3年間の継続サポート
- ✓ 毎月の職場訪問や面談で、仕事や生活へのアドバイス



「仕事のサポート」働きやすい環境が続くよう、定期的に就労定着支援員が職場へ訪問します。企業様とも仕事の状況やコミュニケーション等の状況確認を行い、様々な課題へしっかりアプローチ。早めの解決で安心して働けるようにアドバイスします。

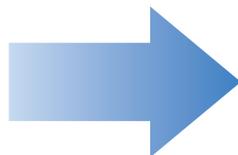


「生活のサポート」働くために必要な生活力。現在の生活状況や今後の希望の聞き取りを行います。困っていることや悩みの相談には、様々な機関と連携し、不安の軽減や解消に結び付けサポートします。



- ✓ 本人、ご家族、企業、医療機関、関係機関と連携を行い、サポートを行います。
- ✓ キャリアアップ支援を行います。

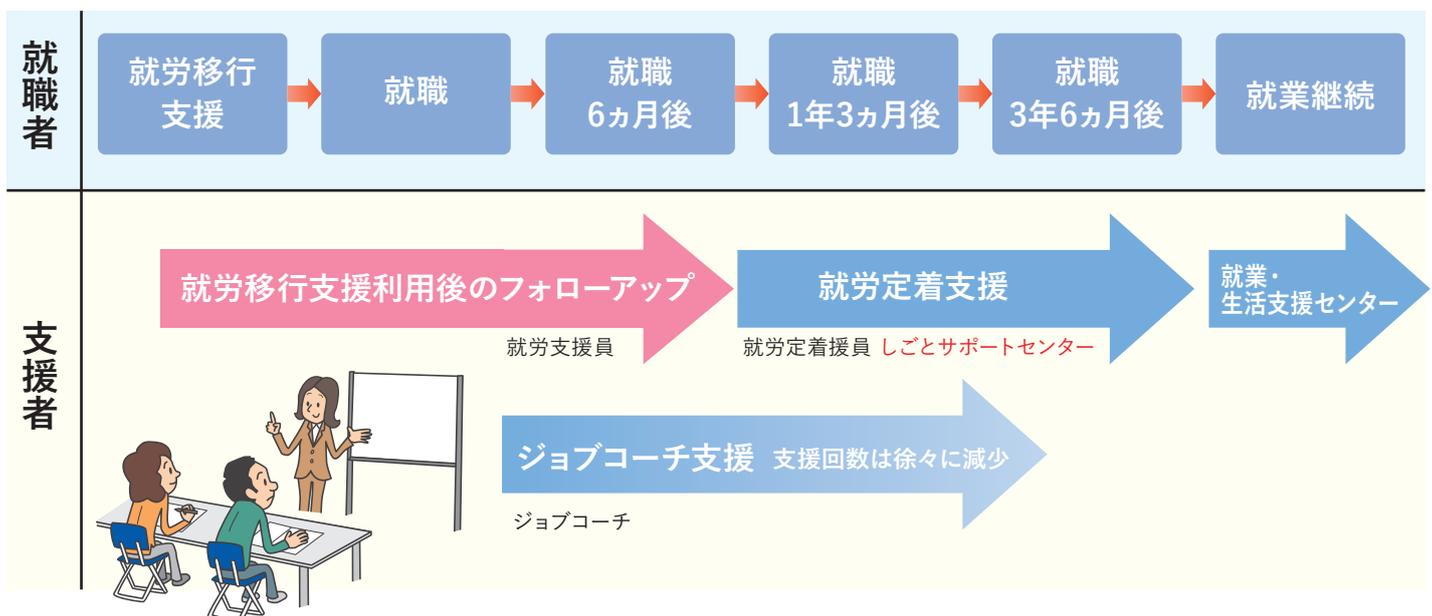
- 就業時間を増やしたい
- 職域を広げたい
- 昇格したい



企業様との懸け橋になり、
キャリアアップのためのスキルの
紹介や方法をアドバイスします。

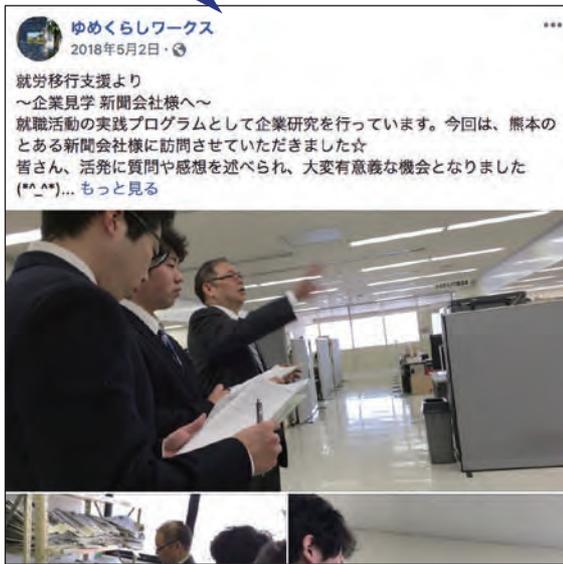


就職後のサポートの流れ



ゆめくらしワークス事業部 Facebookページ

ゆめくらしワークスの日常風景や取り組み内容を写真や動画で情報発信しています！



 facebook.com/yumekurashiworks

明德会ブログ「めいとく日和」

めいとくの里では、日々の日常生活や、活動場面、外出等の様子をブログにて配信しています。より多くの方にめいとくの里を知って頂きたいと思い、今回ブログの中の1枚を紹介いたします。この他にも沢山のことが掲載してありますので、以下のアドレスにアクセスして頂き、ご覧ください。



 ameblo.jp/meitokukai/

明德会情報発信のご紹介

FOLLOW US

熊本市障がい者相談支援センターチャレンジ LINE@



QRコードから友だちになる



ID検索から友だちになる



色々な情報や相談のお仕事のこと 障がい福祉の事以外のこと等もアップしていきます。お友だち登録よろしくお願ひします！



@csu2434m 

明德会 インスタグラム

明德会よりインスタ映えな一枚をお届け！



 instagram.com/meitokukai



MEITOKUKAI NEWS



熊本市ブロック 看護職員情報交換会報告

平成30年11月28日、熊本市ブロック施設長連絡会のご協力のもと、第1回熊本市ブロック看護職員情報交換会をチャレンジめいとくの里で開催することができました。13事業所から17名の参加者があり、チャレンジめいとくの里の取組説明や各事業所の取組・諸課題についてのグループワークなど、充実した時間を過ごすことができました。



ポスター発表

2月16日に明徳会の内部研修の一環としてポスター発表を実施しました。各事業所の支援員が今年度の活動の取り組みや成果の報告を行い、普段はなかなか知ることのない互いの支援内容や取り組みについて事例を交えて発表を行いました。発表後の質疑応答で意見交換を行うなどお互いの刺激となったのではないのでしょうか。今後もご利用様が楽しみを持って生活して頂けるよう支援を行ってまいります。



成人のお祝い

1月19日にホテルキャッスルにて、成人を迎えられた3名のB型スタッフさんと新成人のお祝い会を開催いたしました。みなさん、めいとくの里での楽しいことやこれまでの思い出などで話が弾み、たくさんの笑顔を見ることができました。成人の抱負のとして、「今後も仕事を頑張っていきたい、新しいことにチャレンジしたい」という思いを聞くことができました。普段とは違った雰囲気の中、お食事をとりながらゆっくりとお話することができ、楽しいひとときを過ごすことができました。



1月14日にケア・ハピネスで成人を迎えられたご利用者様6名の内、4名の方とご家族にご参加いただき、成人のお祝いを開催させていただきました。式典では、施設長からのお祝いの言葉や各グループのご利用者様より記念品が贈られました。また、式典の後には、お食事を用意させていただき、楽しい時間を過ごしていただきました。素晴らしい人生の節目に同席させていただき、参加した職員も感慨深いものがありました。4名の新成人の方の今後のさらなる飛躍と活躍を祈念するとともに、今後も微力ながらお手伝いさせていただければと思います。成人を迎えられた4名の皆さん本当におめでとうございます。





障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援 短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明徳町 707-1

Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344 c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 就労定着支援 生活訓練 就労継続支援 B 型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343

meitokunosato-works@meitokukai.jp

障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1

Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951 yumekurashi-orange@live.jp

障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

生活介護

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3

Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399 happiness@meitokukai.jp

熊本市障がい者相談支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒860-0844 熊本市中央区水道町 12-1 1-B 号

Tel. 096-312-3550 Fax.096-312-3551 soucha@meitokukai.jp

地域生活支援センター メイト

相談支援事業

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1

Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451 mate@meitokukai.jp



明徳会公式サイト

明徳会フェイスブックページ

明徳会インスタグラム

ゆめくらしワークスフェイスブックページ

めいとく日和 (職員ブログ)

<http://www.meitokukai.jp>

<https://www.facebook.com/meitokukai>

<https://www.instagram.com/meitokukai>

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>

<https://ameblo.jp/meitokukai>

明徳会公式サイト

